

New
Topics

最近の出来事

健康増進講演開催！
頭と体を使って認知症予防

11月12日に「頭と体を使って認知症予防」という題名で講演を行わせて頂きました。当日は地域の方々と一緒に頭と体を動かして、笑顔で楽しむことが出来ました。今後も味噌地区の健康増進のため、活動していきたいと思います！！

正しい知識を深める
糖尿病デーのイベント開催

11月15日は当院、糖尿病デーでした。血糖測定、フットケア、体力測定、お薬相談、栄養相談などのブースがあり、医師や看護師、検査技師による講演がありました。来場された皆さんに、糖尿病に関する知識を深めていただく機会になったのではと思います。

第10回 成果発表会を
行いました！

11月28日に第10回目となる成果発表会を行いました。今回は9件の報告事例がありました。個々の職種やチーム、委員会などの活動の成果を報告し共有することで病院の今後の活動に役立てていきたいと思っています。

pickup news

身体拘束ゼロを目指して



患者さんの尊厳と主体性を尊重し、当院においても2024年6月「身体拘束最小化委員会」を発足しました。隔月第2火曜日に委員会活動、毎月第2火曜日に身体拘束ラウンドを実施しています。身体拘束ラウンドでは実際にベットサイドへ行き、身体状態や周囲環境を含めて、現在の対策が妥当かどうかを多職種と検討しています。また、院内研修だけでなく外部講師を招いて勉強会を開催するなど拘束率ゼロを目指して活動しています。委員会の活動内容は院内研修会や院内成果発表会でも報告し、病院全体で取り組んでいけるように働きかけています。

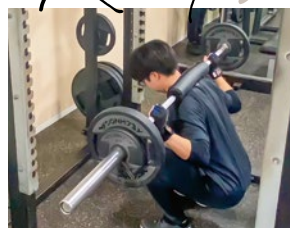
SORABITOを知る！

Vol.

Relay Interview 08

リレーインタビュー

リハビリテーション部



都 築 一 磨

筋トレと食事で健康に！

私は2025年10月からスポーツジムに通いウェイトトレーニングを行っています。正しく負荷をかけたり、食事管理にも気を遣うことで、最初は持ち上げることが出来なかった重量を扱えるようになったり、自分の体が目に見えて変わってきたりと、その分の結果がついてきてとても楽しく取り組んでいます。自身の筋トレで学んだ知識を患者さんのリハビリにも活かせるようになってきました。2025年10月からは福利厚生で「スポーツジム&フィットネス P・SPO」が利用できるようになりました。病院のサポートも受けながらマッチョで健康的なPT（理学療法士）を目指して日々頑張っています。皆さんも僕と一緒に筋トレしませんか？

NEXT! 次号 Vol.09は… 放射線室のSORABITOへ！

私たちは、地域の皆さまに親しまれ、信頼され、満足される病院を目指します

おおぞら病院 広報誌「そら」

SORA

そら

Vol. 40

2026.01

TAKE FREE

おおぞら病院で働く人たちにインタビュー

「特集」わたしたちのやりがい

“栄養管理室・総務・
訪問看護リハビリステーション・
リハビリテーション部”

リレーインタビュー 都築 一磨

筋トレと食事で健康に！

最近の出来事

糖尿病デーで知識を深める！
健康増進講演開催！ 他

pickup news

身体拘束ゼロを目指して

MESSAGE

明けましておめでとうございます。昨年は政治の世界においては、与党の衆参過半数割れや連立政権の組み替え、初の女性首相誕生など、大きな変化がみられた1年でした。新政権には、病院の収益改善や職員の処遇改善につながる継続した取り組みを期待しています。さて、当院で昨年取り組んだこととして、エネルギー消費の削減を図るため、特に電力負荷が大きい空調設備を自動制御するシステムを導入しました。導入後すぐに契約電力の引き下げが実現し、空調の省エネ率は約14%減と効果を実感できています。それから、育児・介護時の柔軟な働き方への対応や賞与算出方法の変更など、職員の処遇改善につながるような取り組みを行いました。また、福利厚生の一環として、スポーツジムと法人会員契約を締結しました。

職員は個人で会員になるより少ない負担で利用できるため、身体的・精神的・社会的に満たされたWell-being(健康)を確保する一助になればいいなと思っています。本年の取り組みとしては、業務の効率化と職員の負担軽減になるような新たな機器等の導入を進めていきます。また、病院も新築移転して10年以上が経過し、既存の建物設備や機械設備などに不具合が発生する頻度が多くなってきたため、計画的に更新を検討してまいります。そして、職員の処遇改善や不足している職種の人員確保にも引き続き取り組み、働きやすい職場環境の整備に努めていきたいと思っています。最後になりますが、地域の皆さん、患者さん、職員から必要とされる病院を目指して頑張ってまいりますので、本年も引き続きよろしくお願いいたします。

おおぞら病院
事務部長
安波 充也

基本方針

患者さん中心の医療 「笑顔であいさつ」を心掛け、患者さん中心の心の通った医療を行います
質の高いチーム医療 「専門職としての知識・技術の向上」に努め、質の高いチーム医療を実践します
地域に貢献できる医療 「ともに生きる」の精神で、地域の皆さまと安心して暮らせるまちづくりに取り組みます

医療法人同仁会
おおぞら病院
OOZORA HOSPITAL

〒791-8555 愛媛県松山市六軒家町4-20 FAX 089-989-6619

TEL 089-989-6620 (代表) 平日 9:00～17:00(休診日を除く)

JR	JR松山駅より タクシー約3分 または伊予鉄市内電車に乗換	
伊予鉄電車	伊予鉄市内電車・城本線 萱町六丁目駅 下車	徒歩約5分
	伊予鉄郊外電車・高浜線 古町駅 下車	徒歩約10分
バス	勝岡・運転免許センター線 北宮西町バス停	徒歩約3分

WEB



おおぞら病院職員に聞く

わたしたちのやりがい！

約280人の職員が働いているおおぞら病院。

職員たちはどのような仕事をし、どのような思いで働いているのか。

各部署の代表者に仕事のやりがいについてインタビューをしました！シリーズでお届けします。



Interview

栄養管理室
管理栄養士
日野 里美
さん



日常の業務内容

入院患者さんの栄養評価や食事の管理、カンファレンスへの参加、また入院や外来の栄養相談をしています。他に、厨房の衛生管理や保守、非常食の管理などを担当しています。

やりがいを感じる時

栄養相談の後、「やっぱり食事や栄養って大事なんだね」と話されているのが聞こえた時や、後日、「体調や検査結果が良くなりました」とお声をかけていただく時です。

趣味・マイブーム

マイブームは、朝のコップ1杯の豆乳です。作りたての豆乳はとても美味しいです。おからになる部分も、すべて豆乳にできるところが大変気に入っています。



Goal
目標

変わりゆく栄養学や食事療法について、きちんとお伝えできるよう自己研鑽を重ね、患者さんの診療を栄養面からサポートしていきたいです。

Interview

訪問看護リハビリテーション
看護師
佐伯 一恵
さん



日常の業務内容

訪問看護師としてご自宅へ訪問し、利用者様の体調管理や日常生活の支援、ご家族からの相談対応など、安心して療養生活を送ることが出来るようお手伝いさせていただいています。

やりがいを感じる時

利用者様一人ひとりに向き合い個別性に応じた看護を提供することで、信頼関係を築くことが出来た時です。

趣味・マイブーム

旅をすることが大好きです。写真は7月の上高地「雪解けの清流」梓川です。季節ごとに素晴らしい景色を求めて、様々な場所を訪ねてみたいです。



Goal
目標

2024年は初孫も生まれ、ばあちゃんと呼ばれるようになりました。これからの人生、仕事もプライベートも自分らしく目標を持って楽しむことが出来るよう毎日を送っていきたいです。

Interview

総務
事務
中矢 剛志
さん



日常の業務内容

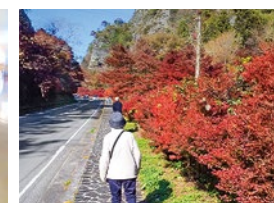
職員の入退職対応や手続き、給与や賞与の計算などがあります。その他設備や備品の修繕対応、時には屋上庭園の水やりなど、病院内で起きるさまざまなことに対応いたします。

やりがいを感じる時

総務への職員からの質問や要求は医療以外の事が多く、幅広い知識が求められます。知識や経験を増やし、素早く対応できたときには達成感を感じ、自信につながります。

趣味・マイブーム

「ひきこもり」が趣味なのですが、最近は両親と出かけたりするようになりました。このあいだ紅葉を見に、久万高原町を訪れました！



Goal
目標

直接患者さんにつながることは少ないですが、自分の仕事を丁寧におこなうことでまわりまわって患者さんの笑顔につながるように頑張ります。

Interview

リハビリテーション部
言語聴覚士
小島 佑太
さん



日常の業務内容

コミュニケーションや食べることに問題のある方に対して、リハビリを行ない、その人らしいより良い生活が送れるようサポートをしています。

やりがいを感じる時

患者さんの機能が改善していく姿や、「できなかったことが、できるようになった」瞬間に立ち会えた時、やりがいを感じます。

趣味・マイブーム

美味しいご飯やケーキを食べることが好きで、地元(高知県)に居るときはカフェや喫茶店に行ったりしてました。ゆっくりとした時間を過ごせて、考え事をしたいときや気分を変えたいときには気づいたらカフェや喫茶店に足を運んでいます。



Goal
目標

機能改善を考えながら、「今持っている力で、できることが増える」リハビリを提供できるような言語聴覚士を目指していきます。